

2 生きがいを育む学びのまちづくり

学校教育の充実

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、安心して学べる教育環境を整備します。「GIGAスクール構想整備事業」では、タブレットを活用しICT教育を推進し、ヤマザクラの育成体験やALTによる英語教育を通して郷土理解と国際理解を深めます。また、小中学校の適正配置は基本計画に基づき進めていきます。

生涯学習・芸術文化活動の推進

生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。また、電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会の提供に努め、市民が活用しやすい施設を目指します。

青少年の健全育成

豊かな体験・交流・学習活動を通して子どもたちの生きる力を育ててまいります。また、地域が一体となって青少年が健全にのびのびと、生活できる環境づくりに取り組みます。

生涯スポーツ活動の振興

各種大会やスポーツ教室を通じて、子どもたちから高齢者まで、幅広くスポーツを気軽に取り組める環境を整備します。

文化財の保存活用

国指定天然記念物「桜川のサクラ」の保全管理を行うとともに、指定文化財の維持管理や修理指導を実施します。あわせて、真壁の町並みや真壁城跡の歴史景観の保存と活用を引き続き推進します。



3 安全安心な暮らしのまちづくり

消防・防災対策の充実

災害時に迅速かつ的確に対応できる体制の強化を図るとともに、自主防災組織の育成や防災訓練を通じて防災意識の向上に努めます。また、消防団員の減少や高齢化を踏まえ、地域の実情に応じた消防体制の見直しを行います。

防犯・消費生活対策の推進

犯罪のない安全なまちを目指し、防犯意識の向上と防犯灯・防犯カメラの整備を進めます。あわせて、消費生活センターの相談体制を充実させ、消費者トラブル防止のための啓発を行います。

交通安全対策の推進

交通安全施設の整備や道路の危険箇所の解消に努めるとともに、警察署など関係機関と連携・協力して、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めます。

4 活力ある産業のまちづくり

農林業の振興

農業基盤の整備や地産地消・ブランド化を進めて農家の所得向上を図るとともに、新規就農者の確保や農地集積による効率化を推進します。あわせて、優良農地の保全や耕作放棄地対策、有害鳥獣の捕獲・被害防止、里山や森林資源の維持に取り組みます。

商工業の振興

販路拡大や商品開発、商工会と連携した経営支援により事業者の活性化を図るほか、住宅リフォーム助成による市内消費の促進を継続します。さらに、石材業の販路拡大や企業誘致を進め、雇用の創出につなげます。

観光の振興

「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源であるヤマザクラや筑波山地域ジオパーク、つくば霞ヶ浦りんりんロードなど、市の魅力のPRに努めます。特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを活用し、日本一のヤマザクラの里として全国に発信します。

令和8年度

施政方針



桜川市長 大塚 秀喜

令和8年3月3日～16日の会期で開催された、第1回桜川市議会定例会で、令和8年度の市政運営に向けて、大塚市長が施政方針を述べました。本月号で、その概要をお知らせします。なお、令和8年度予算の概要については、来月号に掲載します。

1 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり

子育て支援の充実と少子化対策の推進

結婚相談やセミナー、出会いイベントの開催などにより結婚を希望する男女を支援するとともに、新婚世帯へ結婚祝い金を給付します。あわせて、出産・就学・中学入学の節目に「子育て3ステップ応援金」を支給します。

健康づくりの推進

妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援として伴走型相談や全出生児を対象とした保健師などによる家庭訪問、オンライン相談を実施し、全ての妊産婦などの孤立感・不安感の解消に努めます。また、国の交付金を活用した経済的支援も行います。

地域医療体制の充実

安心できる地域医療体制の確保のため「さくらがわ地域医療センター」の安定的な運営を進めるとともに、引き続き休日診療対応、各種健診、予防接種などを行います。また、医療機関の適切な受診、かかりつけ医の推奨などを周知します。

地域福祉の推進

市民の地域福祉に関する意識を高め、地域で支え合うネットワークの形成や社会福祉協議会などの関係団体と連携体制を確保し、協働の仕組みづくりを進めます。

障がい者福祉の充実

障がいのある方およびその家族が住み慣れた地域で、安心した生活を送ることができるよう、相談支援体制の充実を図り、自立と社会参加への支援を推進するため、各種福祉サービスにより支援の充実を図ります。

高齢者福祉の推進

「地域包括支援センター」を中心に、相談体制の充実、生活支援体制の整備を図るとともに、医療・介護などが連携する仕組みの構築に努めます。また、増加傾向にある認知症の早期診断・早期治療、状態に応じた医療、介護サービスの構築を図ります。

社会保障制度の健全運営

医療費の抑制と保険料の収納向上により、保険財政基盤の安定化を図ります。介護保険制度においては、要介護認定者や介護保険サービス利用者のさらなる増加が見込まれるため、健全な介護保険財政に努めます。



＊ CONTENTS

- 02 令和8年度施政方針
- 05 さくらがわ人生応援プロジェクト
- 06 「平和のモニュメント」除幕式／夢みる給食上映会／統計功労者表彰を受賞
- 07 まちの話
- 08 桜川市さくらマラソン大会
- 09 ヤマザクラ通信
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 DX研修成果発表会／民間自治功労者表彰／市執行部がひなまつりでおもてなし

＊ 表紙

親子で駆け上がる



表紙は、3月8日に桜川市総合運動公園で行われた第21回桜川市さくらマラソン大会を撮影したものです。

当日は各地から1,566名のランナーが参加し、市内の自然豊かなコースを駆け抜けました。(8ページに関連記事を掲載しています。)

＊ 桜川市の人口と世帯

- 【人口】 35,268人 (－58)
- 【男】 17,531人 (－38)
- 【女】 17,737人 (－20)
- 【世帯】 13,602世帯 (－2)
- ()は対前月増減
- 常住人口
- 令和8年3月1日現在

5 快適な暮らしのまちづくり

計画的な土地利用の推進

桜川筑西インターチェンジ周辺地区における新たな都市拠点の形成を推進し、社会情勢の変化に即した適正かつ合理的な都市計画制度の見直しを行います。

景観の良い住環境の保全

住宅取得者に最大200万円を助成する定住促進事業により人口増加を図るとともに、桜川市空家等対策計画に基づき、空家対策と利活用を進め、安全で活力ある地域づくりを推進します。

道路網の整備

一級市道の整備を国・県の補助を活用し計画的に進めます。その他の市道や排水整備、道路・橋梁の補修についても、緊急性を踏まえ対応します。

公共交通の充実

基幹路線である「ヤマザクラGO」の利便性向上を図るとともに、タクシー運賃助成を拡充し、高齢者など交通弱者の移動手段を確保します。

下水道の整備

水洗化の普及と広域化を進め、引き続き接続率の向上についても促進します。

上水道の整備

水道の老朽化対策や水質管理を進め、安全で安定した供給体制を確保するとともに、広域での経営統合を推進します。

廃棄物の抑制と適切な処理

市民の皆様や事業所などの環境保全に対する理解と協力のもと、適正な廃棄物処理、資源ごみの再利用、リサイクルによる循環型社会の構築を進めます。

生活環境の保全

桜川市地球温暖化対策実行計画に基づき、地球温暖化をはじめとする環境問題に積極的に取り組むとともに、環境保全のための意識啓発に努めます。



6 みんなで築く自治のまちづくり

市民協働のまちづくり

公式LINEの機能拡充などSNSを活用した効果的な情報発信に努めるとともに、市民の意見を市政に反映しながら協働のまちづくりを推進します。あわせて、NPOやボランティア団体への支援、友好交流都市との交流を通じた国際理解の促進にも取り組みます。

人権尊重のまちづくり

人権について理解を深めるため、人権相談を実施するとともに、継続的に啓発・キャンペーン事業を推進し、人権意識の高揚を図ります。また、広報活動や講演会の開催を通して、男女共同参画の意識向上に努めます。

時代に合った自治体運営

第2次総合計画に基づく着実な事業推進とともに、第3次総合計画の策定を進め、行政評価を活用した効率的な運営を図ります。新庁舎整備やDXの推進により、市民サービスの向上と手続きの簡素化を進めます。

組織経営と人事マネジメントの充実

多様化する社会環境に対応できる組織機能を目指すため、研修を通して職員の能力開発や人材の育成を図るとともに、効率的な行政運営に向けて、行政サービスの向上を図ります。

健全な財政運営の推進

市の魅力ある特産品などを発掘し、皆様に選んでいただける返礼品を取り揃えて「ふるさと納税」につなげます。また、市の地方創生に向けた取り組みを発信することで、それらの財源となる「企業版ふるさと納税」による法人からの支援もお願いしていきます。

